

生命を衛る環境工学

場所：1号館108講義室

時間：月曜2限(10:40-12:10)

「いのちをまもる」という視点から、社会の中で都市環境工学が果たすべき役割を学ぶ。東日本大震災に伴う諸問題について都市環境工学の視点から解説した後、世界の都市環境問題の実態とその解決方法について、世界の第一線で活躍する講師陣がオムニバス形式で概説する。

キーワード：都市、アジアの環境、東日本大震災、水、大気、衛生

スケジュール(予定)：

回	日	曜日	タイトル
1	10/7	月	ガイダンス、衛生工学の社会において果たす役割、東日本大震災に伴う環境問題：1 廃棄物
2	10/15	火	東日本大震災に伴う環境問題：2 水道
3	10/21	月	東日本大震災に伴う環境問題：3 下水道
4	10/28	月	水環境中の微生物とその制御技術
5	11/5	火	世界の地下水と健康の問題
6	11/11	月	安全と基準
7	11/18	月	都市の水を支える生物処理技術
8	12/2	月	土壌地下水汚染のバイオレメディエーション
9	12/9	月	大気汚染の評価と事例
10	12/16	月	生態系への化学物質がもたらす毒性評価
11	1/15	水	気候変動がもたらす洪水リスク
12	1/20	月	途上国の水環境
13	1/27	月	水系感染症のリスク：カンボジア等の事例を通して

注：11/25は休講

◇成績評価：

偶数回の講義における小テスト（もしくは小レポート）全6回の評価による

◇本講義に関する問い合わせ・連絡先：

都市工学専攻 講師 小熊久美子 (oguma@env.t.u-tokyo.ac.jp)

◇本講義HP：都市工学専攻都市環境工学講座 HP 内

<http://www.env.t.u-tokyo.ac.jp/index.html>